10年ほど前に出版されて評判になった本なので、ご存知の方もいらっしゃると思うが、純白の花を咲かせる沙羅の並木路を、ここはどこなのだ、どこに向かっているのだと考えながら歩く46才の椿山課長の話から物語は始まる。

彼は都内の有名デパートに勤め、初夏のグランドバザールの初日、過労と思われる病で急死するが、生と死の中間に存在する「S A K」と呼ばれる現世の罪を審査する役所で、死んでも死に切れぬ相応の事情のある者は、再審査を受け、審査官のOKが出ると、7日間に限り現世に戻ることが出来る制度を知り、再審査を受けて、現世に逆送される。

奇想天外の話なのだが、この度の韓国の転覆事故のニュースを見た時、この本の最初の風景が、頭に浮かんできた。

キラキラと輝く初夏の光、どこまでも続く広い沙羅の並木路、満開の花の香りが辺り一面にあふれる中を何百と云う高校生が、友達と話す事もなく、静かに歩いている。

「ここはどこ？」

「どこへ行くの？」

自分が死んでしまったという事実を、彼らが受け入れられるはずもない。今頃は、元気に友達とはしゃいで旅行を楽しんでいたはずの子供たち。

遺族の方達によってビデオが公開され、船内での直前の姿や声が写し出される。

「船が傾いてきた」

「水が入ってきたら面白い」危機感の全くない子供たちの声が、次第に緊迫感にあふれ、携帯で親に救いを求める。乗務員の指示に従しみに親は泣いている。

何故あの時、「救命道具を着けすぐに逃げろ」と云わなかったかと悔やんでいた。きっと一生後悔するに違いない。どうしようもない苛立ち、悲

あたら助かった命を奪われた子供たちに、どんな言葉をかけられようか。

私はこの本を読んで、死ぬことが少しだけ怖くなくなった。

死後の世界が、この本に描かれている様なものであったなら、彼らは現世に帰ってくる当然の権利がある。

帰って来ても、納得できる理由が見つかるはずもないが、親には会える。どんなに姿が変わっていようが、親ならわかる。そうあって欲しいと心からおもう。

荒唐無稽な話ではあるけれど…。

マハロ

私のブログ雑感

ブログが流行った理由の一つとして―それなりにお洒落なホームページを、誰でも簡単に作れる」ことが上げられます。

〈コンテンツ自動作成機能〉

ほとんどホームページの技術、知識がない人でも、ボタンをクリックするだけで、簡単に「お洒落」なホームページを作ることができます。

簡単に自分でホームページ（ブログ）が更新できるのです。

またコンテンツは、「日付順」に並びます。そのため、ほとんどのブログが「日記」的な利用のされかたをします。

厳密には日記以外のコンテンツも多いのですが、「ブログ＝日記コンテンツ」と理解しておきましょう。

～　ネットより抜粋

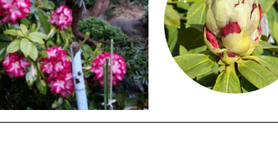
先生に教えていただいてGooブログにマイブログ「木漏れ日」をアップしてから3月で1年が過ぎました。ブログを書くことによって物事や風景、花などを見る目が少しはかわってきたのかなと思います。

それと気に入ったブログを登録しておいて、開くのが楽しみです。

80代でブログを出版したり、毎日絵を1枚ずつ書いてアップしている方や、コメントを必ず返してくださる方や～～すこしづつ、ささやかな交流や、知識をいただきます。

あまりにもそっけない私のブログですが、訪ねてくださる方がいるのもうれしいものです。

TPCのお仲間のブログは勿論とても楽しみにさせていただいております。



ハガキ通信とブログは気に入って続いていきそうなので、楽しく続けようと思います。

ワードやエクセルは、ようやく使えるようになったのに…。

ほんらいのPC操作からは逸脱してるかなと思いながら私にとってパソコンはこれで良いかなと思います。

趣味は楽しいのがよいです。

不埒な生徒でごめんなさいねhiro先生。

こんな楽しいことを教えてくださった先生に感謝です。

明生

バードウオッチング

松戸市地域環境調査員に応募した。この調査は野鳥を環境のバロメーターとした、地域の環境の状況を把握するもので、市内を65の地区に分け、それぞれにボランティアを配置して月に数回観察をして、結果を記録し報告するもの。

私の担当は、28地区で、金ケ作公園を中心として、北は金ケ作小学校、東はやまぶき公園など、結構広い範囲。

晴れた日の朝、9時半に自転車に乗って、まずは金ケ作公園に向かった。

新緑が眩しいほど美しい。八重桜、レンギョウ、つつじも2色入り乱れて咲いている。

スズメ、ハシブトカラス、ムクドリ、シジュウカラ、などがいた。熊野神社では、ウグイスが鳴いていた。

神社の北側はまだ、緑が多く畑仕事をしている人もいる。走っているうちに「囲い山の森」を見つけた。里山として保全している所だ。他にもキジバト、オナガ、ヒヨドリなど、いつもながらの顔ぶれに会った。早く、鳴き声からも種類が分かるようになりたいと思う。近年、眼に見えて緑地が減り、以前、家で聞いたウグイスや、団地中に響き渡る爽やかなカッコウの鳴き声を思い出した。

これからもずっと小鳥たちのおしゃべりが聞こえる環境でいてほしいと思った。

カズミ

我が家の花

「西洋シャクナゲ」

この花との出会いは下の娘が高校に合格した今から24年前の3月下旬です。

私と娘の2人で房総半島一周ドライブに出掛け、平砂浦のホテルで昼食をとり、白浜へ向かって出発して間もなくの事です。

道路端で土産物を売っていた小さな集落でこの花を見つけました。娘が大層気に入ったので少し高かったのですが記念にと、つぼみが3～4個付いた大きい苗木を購入しました。1ヵ月後には見事な花を咲かせ私たちを喜ばせてくれました。

日本シャクナゲ、ハマナスの花、四季咲きのピンクの大輪のバラと並べて植えました。

西洋シャクナゲ、バラ、ハマナスとそれぞれの季節に咲き誇り楽しませてくれていましたが、約10年前に日本シャクナゲとハマナスは西洋シャクナゲに押されたのか枯れてしまいました。

この西洋シャクナゲの花は直径6～10cmの一重で外周が濃いピンク、真中が白で約30ケの花が立体的に房となり次々と咲きます。

花の重さに茎が耐え切れず、頭を垂れます。

色々な『シャクナゲの花』を目にしますが、我が家の様な花は見かけた事が有りません。

此れからも大切にして行きたいと思います。

くま

小さな幸せ

異変の多かった今年の冬も北国へかえったね！とばかりに、桜の花が日本中の山、町に咲き誇り後を追う様に次つぎと数えきれない種類の花々が我々を楽しませてくれた。

東北の地にも咲いてくれたことであろう。そうであって欲しいと、世界中の人々も祈っていたことでしょう。感謝します。

ところで、最近の世相は不安な事が多々。私達の頃はさざ波の様な幸せで平和であったように思う。

小学生時代は「ガレキ」を遊びの材料にしてそれはそれは楽しく遊んだものである。

玩具、ゲーム等を持つ子供はいなかった。駄けずり回って遊んだように思う。が故に風邪を引く事も少なく元気に遊んでいたものだった。

女の子は石ころや松ヤニで遊んだことは今でも良い思い出として心にしまってある。

さすが中学、高校ではアルバイトは学校で許可しんだ様に思う。

これも楽しく、幸せであった。

しかしこの頃から変化のある道がまっていたのだ。健康であった母親に病が忍び寄って居て、高校入学より4年間に2度の大病に襲われた。

今のように介護制度はない。

長女である私に看病を任された。年端もいかない小娘に何が出来るであろうか、無我夢中であった。

持っているのは若さのみ、家族、病人の世話を何とかこなし母を看取った。

おかしな思い方だが、まだ10代の私が看病してあげられた事にいまでは感謝している。

今迄の自分を想い返すと「私って何て幸せなんだろう、病気することもなく、皆の御世話を健康が故に出来たんだ何て幸せなんだろう」と。

ところが今回、年齢が故の病を得て、自分の弱虫に呆れてしまった。難病と闘う仲間、ガンと戦う弟、私の病など比べものにならないであろうに。

あたふたとした私。

改めてしっかり思い直した。

これこそが最高の幸せであると。

よん

短歌日誌　（夫　思う）1

深井享子

自画像は三年前に描かれてた物置でその日を待っていたか

パソコンに乗っている木彫り雛は夫が節句に合わせて飾った大安

考える時決まってかかるクラッシック孫達の足音も消え

ウグイスの綺麗な声を聴きたくて窓辺によりて笑顔を見せる

かなかなが鳴いているこの夫の声に夕餉の部屋のテレビを消して

モーツアルト協奏曲を聴きながら友に贈るか絵を描いてたな

公園に散り敷く黄葉拾いきて散らばせばアトリエに秋

三年間

物置にねむる

自画像は

花に囲まれ

我らを指導

改憲に執念　首相の源流

憲法記念日

平和な外見とうらはらに、鬼と化す首相の堅固な意思表示。

灰色の時代の幕開けに国民の怒りと危惧が深まる。福島も収束半ばで解決策もないまま問題が山積している。

そんな中、集団的自衛権の行使、九条を蔑ろに戦争に駆り出される。身近な具体性とはいえ逆行する日本に皆反対論を唱えだしている。当然至極の民の声に耳をかたむけない現政権に人々は声を挙げ、拳を振るう。

憲法九条をノーベル賞候補に」と思いもつかなかった行動が受理された。

結果がどうあれ声が届いてはいる。快挙だと思う。

一方、秘密保護法案が施行されれば、完全に言論の自由は狭められはある。これも大変な問題である。

これ以外にも山積する憲法改正問題、日本はどこへ行きどこへ到達するのだろう。

憲法の前文を又読み返してみる。

日本国民は正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、諸国民と子孫のために、成果と自由の協和による恵沢を確保し再び戦争の惨禍を起こさないよう決意し、主権が国民に存することを宣言する。

「平和憲法の理念を真っ向から変えようと、国民無視の政治体制で迫りつつある危険と不安の昨今、私たちはただ黙して従うだけなのか！小さな叫びは水泡となって消えていくばかりなのか！。これからの子供たちをどう育てたらいいのかだれにそれを問うたらいいのか？

真剣に立ち向かい、行く末を考えるべきときの到来。原発をセールスするわが国の代表者を憂い、食物の安全をいちいち計測し、子供の遊び場を制限する。

この上改憲に執念をもやし、武器を持たせて戦場に送るなどとはもう地獄の沙汰としか思えない。戦争の記憶を忘れかけていた身には耐えられない今日、憲法記念日。

いく子

40周年

私の所属している卓球クラブが、40周年を迎えたので、記念のバス旅行、お花見ミステリーツアーに行くことになりました。

当日その場所に着くまで知らされず、皆ワクワクしながら松戸出発！

高速を降りて最初に着いた所が河口湖、桜が7分咲き、芝桜も咲き始めていましたが、あいにくの花曇り、晴れていたら湖面に映る逆さ富士が撮れるはずだったのに残念でした。

楽しみにしていた昼食は富士急ハイランドの中にあるレストランでのバイキング（80種類）皆お腹いっぱい食べました。

＊　＊　＊

食後の散歩で美術館富士山をモチーフに沢山の絵が有りました。

その中に、石坂浩二さん加山雄三さんの絵をみつけました。

今日のハイライト富士ビューホテルの庭園は美しいことで人気があるそうです。

庭の真ん中にも何本もの枝垂れ桜圧巻です。

ミツバツツジ、レンギョウもくれん、ボケ、きぶしなどが、沢山見られました。

初めて名前と花を知りました。＊フジザクラ花は小さくて下を向いて咲いていました。

仲間と楽しい1日過ごしてきました。

♪　♪

はる